

## 山梨大学「咲くやC oの花プロジェクト」

### 【推進体制】

平成24年10月1日に学長直下の組織として女性研究者支援室を設置し、運営している。プロジェクト名には、Communication(情報交換の場を提供する)、Coordination(被支援者と支援者を結びつける)、Cooperation(地域と連携して女性研究者を支援する)の頭二文字である「Co」を冠した。これには学内での支援室の活動をこのように位置付けたいとの願いをこめた。

各学部や委員会等の学内関連部署と連携関係を構築し、女性研究者支援の輪を広げる活動を展開しており、今後も女性研究者を中心として、誰もが働きやすい、学びやすい環境を整えるべく、活動を推進する。

### 【山梨大学の達成目標】

- ・女性研究者比率の最も少ない工学部において、各学科に少なくとも1名以上の教授又は准教授が在籍することを目標に、平成26年度までの定年退職者分の新規採用において女性研究者の増加を図る。
- ・平成25年度以降5年間の退職者分の新規採用においては女性研究者採用率平均15%を目標とする。

### 【平成26年度の主な取組内容】

#### (1) 研究者支援

ライフイベント中の女性研究者(※)へ、研究サポーター(通称: キャリアアシスタント(CA))を派遣し、データ整理や実験補助、文献検索等の研究活動のサポートを実施。ライフイベントを迎えても研究キャリアを継続しやすい環境の実現を目指している。また、研究者志望の学生がCAへ応募してくることが多く、研究者の日常に接することで、将来設計に活かせると好評を得ている。また、産休・育休復帰支援制度を構築し、学会参加費や論文投稿費の助成を開始した。

※ライフイベント中の女性研究者の他、大学等に勤務するライフイベント中の女性研究者を配偶者とする男性研究者対象。

#### (2) 全学的な育児支援

近隣保育園と連携し、一時預かり事業、病児・病後児保育事業、休日保育事業の利用による育児支援を実施。育児中の教職員全員が利用可能であり、割引料金で利用できる為、大変好評である。平成26年度9月に保育園側と正式に「保育業務請負基本契約書」を締結した。

#### (3) 情報交換の機会提供

交流スペースにて、ライフイベント中の教職員や、研究者およびライフイベントに関心のある学生が情報交換できる場として定期的にランチ会を実施。男子学生の参加も見られるようになった。

#### (4) 大学院共通講義「ワーク・ライフ・バランス特論」の実施

大学院生対象の講義を開講。将来のワーク・ライフ像の作成や、履修者の企画力、交渉力、キャリア形成意識向上を図ることを目的に、学生企画講演会を実施した。平成26年度は女子学生2名と留学生男性1名の受講があり、国際的な視点からワーク・ライフ・バランスに関する議論もなされた。

#### (5) 情報発信

ホームページの運営を適切に実施している。特に、研究者を含む社会人ロールモデル紹介、学内の様々な大学生・院生の活躍紹介記事を定期的に更新している。また、ニュースレターの発行(毎月)、学内CNSへの情報掲載(随時)など、情報の充実を図っている。

#### (6) 意識改革・スキルアップ

県内の他大学からの参加者も受け入れた「外部資金獲得セミナー(参加者約60名)」の開催や、山梨県と協力しての「ワーク・ライフ・バランス講演会(参加者約60名)」を開催。学内はもちろん、地域への発展も意識した活動を展開している。

---

【連絡先】 山梨大学 女性研究者支援室 室長 風間ふたば  
TEL: 055-220-8350 FAX: 055-220-8351 E-mail: conohana@yamanashi.ac.jp  
URL: <http://www.conohana.yamanashi.ac.jp/>